

宮本輝ミュージアム開設4周年記念企画展

# 春の夢



2009.5/15(金)→9/10(木)

[授業期]〈開館時間〉9:20-19:50(平日) 土曜日は17:00まで  
〈休館日〉日曜・祝日 5/29(金)、6/30(火)、7/31(金)

[学休期] 8/1(土)~9/20(日)は、開館曜日・時間が変わります。\*

[オープンキャンパス] 6/21(日)、7/19(日)・20日(月・祝)、8/8(土)・9(日)、9/5(土)  
オープンキャンパス開催日は15:00まで開館しています。

\*詳しくは図書館HPでご確認いただくか、直接図書館にお問い合わせください。



追手門学院大学附属図書館

宮本輝ミュージアム

宮本輝ミュージアム  
開設4周年記念企画展

# 春の夢

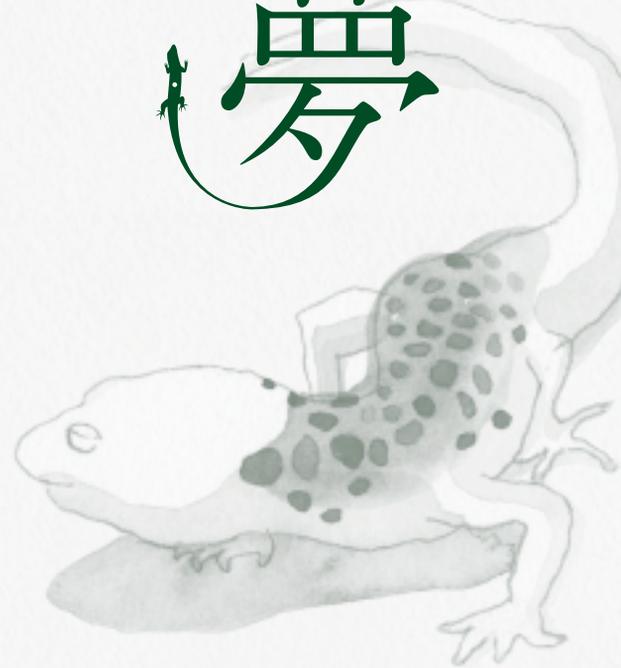
ごあいさつ

『宮本輝ミュージアム』開設4周年を記念して、「春の夢」(1984年、文藝春秋)をテーマに企画展を開催いたします。小説「春の夢」は、1970年代の大阪を舞台とした大学生が主人公の青春小説です。本作品をはじめ、宮本輝氏の描く青春小説には、氏自身が青春時代を過ごした1970年代を背景としているものが多数あります。団塊の世代にとっては懐かしいあの時代。今回の企画展では、当時の象徴的なイベントとして日本中が賑わった大阪万博の資料等も揃えました。

その他の青春小説として「星々の悲しみ」(1981年、文藝春秋)、「道頓堀川」(1981年、筑摩書房)、「青が散る」(1982年、文藝春秋)等の作品もご紹介いたします。1970年代に青春を過ごされた方には懐かしく、現在主人公と同世代の方には新鮮に響く今回の展示会に、ぜひお越しください。

【主催】宮本輝ミュージアム

【協力】土田世紀氏、株式会社文藝春秋、株式会社乃村工藝社、万博ミュージアム



## 〈作品紹介〉

亡き父の借財を抱え、借金取りから身を隠すために借りた大阪の古いアパートで、大学生の哲之は一匹の蜥蜴(こかげ)、キンと運命的に出会います。柱に釘付けにされたまま生きるキンと哲之の逆境の日々。恋人、陽子との爽やかな恋模様。

一大学生にとっては非常に重い環境にありながら、青春だからこそ、苦悩に勝る激しい情熱を感じさせる作品です。

## 〈展示物紹介〉

- 1 宮本輝直筆原稿
  - 2 作品紹介
  - 3 登場人物紹介
  - 4 1970年代紹介
  - 5 漫画版「春の夢」(土田世紀・画)や翻訳本(中国語)
- 連載当時は「春の夢」ではなく、「棲息(せいそく)」というタイトルでした。宮本輝氏の筆勢から作品の出来上がる過程を感じとってください。

## 2 作品紹介パネル



## 5 漫画版「春の夢」(土田世紀・画)や翻訳本(中国語)

漫画化とともに外国語への翻訳もされています。土田世紀氏の漫画作品も紹介します。

## スクールバス利用

阪急茨木駅西口から発車



JR茨木駅マイカル茨木横から発車



## 阪急バス利用

「JR茨木」から  
「追手門学院前」下車  
(JR茨木駅前3番バス乗場  
[82・88]系統)



Miyamoto Teru Museum

追手門学院大学附属図書館  
宮本輝ミュージアム

〒567-8502 大阪府茨木市西安威2-1-15 TEL:072-641-9639

URL: <http://www.oulib.otemon.ac.jp/>



追手門学院大学

※スクールバスの時刻表につきましては図書館HPでご確認ください。